

號

決裁指定 (永久) 保存期限

房官臣大		大臣				政務次官 回付 決裁前 運帶		甲兵部
了結	領受	出提	領受	號番	件名	番領	參與官 回付 決裁後 課名	
昭和	昭和	昭和	昭和	三	四一式野砲	參第 野砲	起元應課名	
年	年	年	年	月 日	及一式野砲	九一式被雷榴彈		
十月二日	九月三日	九月廿五日	九月廿七日		及一式野砲	參第 野砲		
(裁決)行決		帶 連		局長		參與官		
覽 回 後		長 局		局長		高級 副官		
長 課		長 課		主務 課長		主務 副官		
				主務 課員		書記官		
				主務 課員		審 案		
				主務 課員		審 案		
				主務 課員		審 案		
				主務 課員		審 案		

陸軍技術本部
 參第 野砲
 四一式野砲
 及一式野砲
 九一式被雷榴彈
 參第 野砲
 起元應課名

陸軍

第一〇九號



決行指定



決裁指定



保存期限

大官房

受領

昭和

年

九月廿三日

行覽

局長

課長

Handwritten numbers and symbols: 九, 二, 一, 合, etc.

九 九
三 二
一 合

十二年
參

件名
番號

參第... 陸軍技術本部
四一式野砲
三一式野砲
二一式野砲
一一式野砲
合

政務次官
參與官
回付
決裁
後
連帶
課名

決行(決裁)後
回覽課名

甲兵部

陸軍

主務課員

主務副官
官房用掛

配官

書記者
審案



陸軍技術本部

陸 普

副官ヨリ陸軍技術本部長へ通牒

首題 彈藥九月十日附陸軍技術本申第四九〇號乃至四九六號同第四九八號及同第五〇〇號上申ノ通定
ムラルヘキニ付該因面(概説共)別紙目錄ノ通送付
セラレ度

陸普第五九七四號

昭和十二年九月廿四日

右送付ノリテ後左案執行相ノ度

陸 普

副官ヨリ別紙配布表ノ箇所へ通牒

首題 彈藥別紙因面ノ通定ムラルヘキニ付該因面(概説共)目錄ノ通送付ス

陸普第七七三四號

昭和十一年三月十六日

昭和拾貳年拾月廿九日

附屬品送付

陸軍

三八式野砲
四一式騎砲
改造三八式野砲
彈藥外八點九五式破甲榴彈々藥筒圖面印刷目錄

三八式野砲
改造三八式野砲
彈藥九五式破甲榴彈々藥筒(概説共) 一三二部

一九〇式野砲 彈藥九五式破甲榴彈々藥筒(概説共) 一一四部

一四一式山砲 彈藥九五式破甲榴彈々藥筒(概説共) 一〇六部

一九四式山砲 彈藥九五式破甲榴彈々藥筒(概説共) 八五部

一九一式十糧榴砲 彈藥九五式破甲榴彈(概説共) 一二〇部

一三八式十糧加農彈藥九五式破甲榴彈(概説共) 九四部

一七零式十糧加農彈藥九五式破甲榴彈(概説共) 八三部

一十四年式十糧加農彈藥九五式破甲榴彈(概説共) 六九部

一九二式十糧加農彈藥九五式破甲榴彈(概説共) 六九部

三八式野砲
四一式騎砲彈藥外八點九五式破甲榴彈々藥筒圖面送付目錄
改造三式野砲

一、四一式騎砲
改造三式野砲彈藥九五式破甲榴彈々藥筒(概説共) 部

一、九〇式野砲彈藥九五式破甲榴彈々藥筒(概説共) 部

一、四一式山砲彈藥九五式破甲榴彈々藥筒(概説共) 部

一、九四式山砲彈藥九五式破甲榴彈々藥筒(概説共) 部

一、九一式十糧榴彈砲彈藥九五式破甲榴彈(概説共) 部

一、三八式十糧加農彈藥九五式破甲榴彈(概説共) 部

一、七年式十糧加農彈藥九五式破甲榴彈(概説共) 部

一、十四年式十糧加農彈藥九五式破甲榴彈(概説共) 部

一、九二式十糧加農彈藥九五式破甲榴彈(概説共) 部

箇		兵		教		兵		造		技		軍		師		園		
所		局		部		校		廠		部		部		部		部		
三八式野戰	彈藥	三八式野戰	彈藥	三八式野戰	彈藥	三八式野戰	彈藥	三八式野戰	彈藥	三八式野戰	彈藥	三八式野戰	彈藥	三八式野戰	彈藥	三八式野戰	彈藥	三八式野戰
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一

陸軍

支	閩	台	圓							師			
			第	第	第	第	第	第	第	第	第	第	
那	車	洋	二十	十九	十六	十四	十二	十一	十九	九	八	七	七
駐	軍	軍	-	-	二	-	-	-	-	-	-	-	-
年			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	六		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	二		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	六		-	-	二	-	-	-	-	-	-	-	-
			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

東京、由良、津輕、舞鶴、下關、對島、
 長崎、永興灣、鎮海灣、基隆、澎湖島、旅順、
 父島、奄美大島、豐豫、壹岐

計	一三三	陽明洋行	一七	由良
	一一四	陸軍	一七	津輕
	一〇六	五	一七	舞鶴
	八五	五	一七	下關
	一一〇	陽明洋行	一七	對島
	九四		一七	澎湖島
	八三	陸軍	一七	旅順
	六九	陸軍	一七	
	七九		一七	

陸軍

現品添付

九三六

陸技本甲第四九五號

九二式十纏加農彈藥九五式破甲榴彈假制式制定ノ件上申

昭和十一年九月十四日

陸軍技術本部長 久村 種樹

陸軍大臣伯爵 寺内 壽一 殿

首題彈藥ハ審査ノ結果實用ニ適スルモノト認ムルヲ以テ假制式トシテ制定セラレ
度左記圖書相添へ上申ス

左記

一 九二式十纏加農彈藥九五式破甲榴彈圖

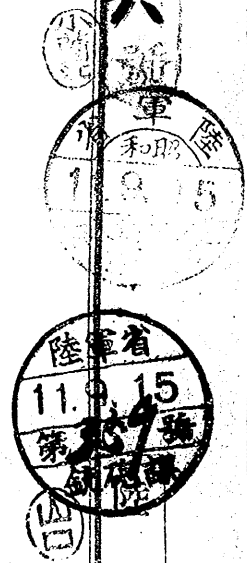
一 同

概説

一 同

細目名稱表中追加

一 部
二 部
二 部



軍

1500

九二式十磁加農彈發九五式破甲榴彈概説

昭和十一年九月
陸軍技術本部

陸

軍

九二式十糎加農彈藥九五式破甲榴彈概説

第一 審會ノ目的及用途

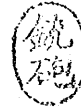
本彈ハ十四年式十糎加農彈藥九五式破甲榴彈ノ審會完了ニ伴ヒ之レヲ九二式十糎加農ニ兼用シ十糎級彈丸ヲ統制セルモノナリ

第二 構造及機能

本破甲榴彈ハ十四年式十糎加農彈藥九五式破甲榴彈ト全然同一ナリ

第三 審會經過ノ概要

本破甲榴彈ハ主トシテ十四年式十糎加農及九一式十糎榴彈ヲ以テ審會シ昭和十一年三月略々審會ヲ完了シ次テ昭和十一年六月伊良湖射場ニ於テ更ニ九二式十糎加農ヲ以テ彈丸機能ヲ試驗シ良好ノ成績ヲ得タルモノニシテ本火砲用トシテ十分實用ニ適スルモノト認め茲ニ九二式十糎加農彈藥九五式破甲榴彈トシテ假制式制定ノ上申ヲ爲スニ至レリ



現品添

陸軍

第九三一

九三一

九三一

九三一

九三一

九三一

九三一

九三一

九三一

九三一

九三一

九三一

陸技本甲第四九〇號

十四年式十糧加農九五式破甲榴彈假制式制定ノ件上申

昭和十一年九月十四日

陸軍技術本部長 久村 種樹

陸軍大臣伯爵 寺内 壽一 殿

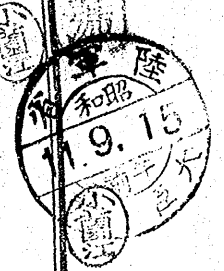
首題彈藥ハ審査ノ結果實用ニ適スルモノト認ムルヲ以テ假制式トシ其制定セラル
度左記圖書相添へ上申ス

左

記

- 一 十四年式十糧加農彈藥九五式破甲榴彈圖 概説 一部
- 二 同 同 二部
- 三 同 同 二部

細目名稱表追加



十四年式十機加農彈藥九五式做甲榴彈概説

昭和十一年九月
陸軍技術本部

陸

軍

十四年式十糎加農彈藥九五式破甲榴彈榴說

第一 審査ノ目的

本彈ハ「ベトン」構築物及凍結セル野戰築城ノ破壞ヲ主目的トセルモノニシテ十四年式十糎加農用トシテ審査セルモノナリ

第二 構造及機能

本破甲榴彈ハ彈丸、炸藥及信管ヨリ成リ全備彈重約一五斤八二〇全長約三入口徑ノ蛋形彈ナリ
 彈丸ハ彈體、底螺及銅環ヨリ成リ彈體ハ蛋形半徑約二口徑、彈頭肉厚五〇糎ノ銅製推出彈體ニシテ彈頭ヲ二重燒入シ下部内面ニ底螺ヲ螺著スヘキねち部ヲ設ク向下部外周ニ幅二十二糎ノ銅製彈帶一條ヲ裝ス底螺ハ彈體下部ニ螺著スヘキねち部ヲ有シ中央ニ信管孔ヲ設ケ之レニ信管ヲ螺著スル如クス
 銅環ハ厚サ一糎ノ銅製環狀板ニシテ底螺ニ設ケタル深サ〇・五糎ノ環狀溝ニ嵌裝シ底螺ヲ緊定セシ隙密塞ヲ確實ニシ火藥瓦斯ノ侵入ヲ防止ス

信管ハ九五式破甲小彈底信管ヲ使用シ之レヲ底螺ニ螺著ス

炸藥ハ約一壯三四〇ニシテ黃那藥ノ被包炸融式ナリ頭部ニハほほの
 き製炸藥頭ヲ附シ彈着ノ衝擊ニヨリ炸藥自燃スルコトナク而モ信管
 ノ作用ニヨリ完全ニ爆發スル如クス
 構造以上ノ如クナルヲ以テ本彈丸ハ堅硬ナル彈頭ヲ以テ「ベトン」
 体等ニ侵徹シタル後延時期杪時ヲ有スル信管ノ作用ニ依リ炸裂シ破壞
 ノ效力ヲ呈スルモノトス

第三 威力

十四年式十榴加農一號裝藥ヲ以テ初速約六二〇米ニシテ「ベトン」
 構築物ニ對シテハ數彈同一場所ニ命中スルコトニ依リ相當ノ破壞效
 力、又凍結セル輕掩蓋ニ對シテハ之レヲ貫通シ内部ニ大ナル破壞殺
 傷ノ效力ヲ期待シ得ヘシ

第四 着合經過ノ概要

昭和九年十月伊良湖射場ニ於テ九一式十榴榴彈砲ヲ以テ主トシテ
 「ベトン」体ニ對スル彈体抗力ヲ試驗シ良好ノ成績ヲ得タルモ炸藥
 ノ安全性ヲ増加スルタメ傳火藥室ヲ設ケ且完全爆發ヲ容易ナラシム

ルタメ九五式破甲小弾底信管ヲ使用スルコトトシ彈体ニ若干ノ改修ヲ加ヘ昭和十年四月伊良湖射場ニ於テ第二回試験ヲ實施セリ本試験ハ十四年式十糶加農及九一式十糶榴彈砲ヲ以テ射撃シ「ベトン」体ニ對スル彈体抗力及炸藥安全度ハ十分ナル成果ヲ得タルモ炸藥ノ完全燃發ヲセサルモノアリ

依テ炸藥ノ機能及安全性ヲ一層良好ナラシムルタメ傳火藥室ヲ廢シ茶黃炸藥ニ代フルニ黃那炸藥ヲ以テシ更ニ信管ノ起燃力ヲ増ス如ク修正シ同年十月伊良湖射場ニ於テ更ニ第三回試験ヲ實施セリ其ノ結果炸藥ノ機能及安全度ハ良好ナル成績ヲ得タルモ彈道性稍々不良ナリ其ノ原因銅環遠心力ノタメ徑ヲ擴大シ彈壁ヨリ噴出セシニ依ルモノト認メシヲ以テ取敢ヘス同部ヲ修正シテ昭和十年度北滿酷寒期ニ於ケル彈丸效力試験ニ供試シ概不所期ノ成果ヲ得タリ

依テ更ニ同彈丸ニ就キ昭和十一年三月伊良湖射場ニ於テ九一式十糶ヲ以テ彈道性試験ヲ實施シ概不良ナル成績ヲ得タリ以上ノ諸成績ニヨリ十分實用ニ適スルモノト認メタルヲ以テ茲ニ十四年式十糶榴

加農 彈砲 彈藥 九五式 倭中榴彈 トシテ 倭制式 制定ノ上 申テ 爲スニ 至レリ



現品付

九三三

陸技本甲第四九二號

七年式十糎加農九五式破甲榴彈假制式制定ノ件上申

昭和十一年九月十四日

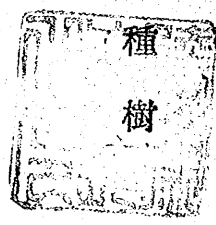
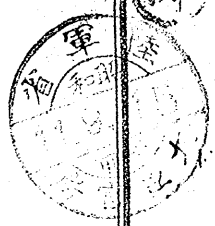
陸軍技術本部長 久村

陸軍大臣伯爵 寺内 壽一 殿

首題彈藥ハ審査ノ結果實用ニ適スルモノト認ムルヲ以テ假制式トシテ制定セラレ
度左記圖書相添へ上申ス

左記

- 一、七年式十糎加農彈藥九五式破甲榴彈圖 一 部
- 一、同 概説
- 一、同 細目名稱表中追加
- 一、同 二 部
- 一、同 二 部
- 一、同 二 部



軍

七年式十糎加長彈藥九五式敏甲榴彈概説

昭和十一年九月
陸軍技術本部

陸

軍

七年式十糎加農彈藥九五式破甲榴彈概説

第一 審査ノ目的及用途

本彈八十四年式十糎加農彈藥九五式破甲榴彈ノ審査完了ニ伴ヒ之レヲ七年式十糎加農ニ兼用シ十糎級彈丸ヲ統制セルモノニシテ本彈丸假制式制定ノ上ハ規制破甲榴彈ニ代ルヘキモノトス

第二 構造及機能

本破甲榴彈八十四年式十糎加農彈藥九五式破甲榴彈ト全然同一ナリ

第三 審査經過ノ概要

本破甲榴彈ハ未ダ七年式十糎加農ヲ以テハ實射試験ヲ行ハサルモ十四年式十糎加農及九一式十糎榴彈砲ニヨル實射ノ成績ヨリ判定シ本火砲ニモ十分實用ニ適スルモノト認メタルヲ以テ茲ニ七年式十糎加農彈藥九五式破甲榴彈トシテ假制式總制定ノ上甲ヲ爲スニ至レリ



現品添

九三三

陸技本甲第四九一號

三八式十纏加農彈藥九五式破甲榴彈假制式制定ノ件

昭和十一年九月十四日

陸軍技術本部長

久

村

種樹

陸軍大臣伯爵 寺内 壽 一 殿

首題彈藥ハ審査ノ結果實用ニ適スルモノト認ムルヲ以テ假制式トシテ制定セラレ度左記圖書相添へ上申ス

左

記

一 三八式十纏加農彈藥九五式破甲榴彈圖

一部

二 同

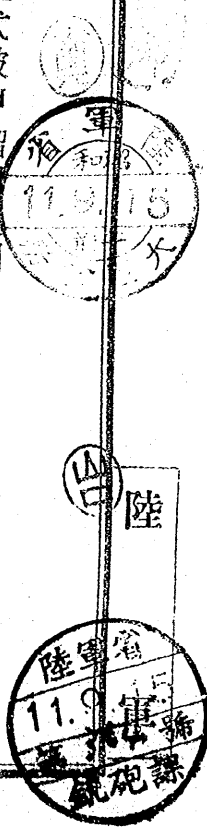
概説

二部

三 同

細目名稱表中追加

二部



1512

三八式十糎加農彈藥九五式破甲榴彈概説

昭和十一年九月
陸軍技術本部

陸軍

三八式十榴加農彈藥九五式破甲榴彈概説

第一 審査ノ目的及用途

本彈ハ十四年式十榴加農彈藥九五式破甲榴彈ノ審査完了ニ伴ヒ之レヲ三八式十榴加農ニ兼用シ十榴被彈丸ヲ統制セルモノニシテ本彈丸假制式制定ノ上ハ現制破甲榴彈ニ代ルヘキモノトス

第二 構造及機能

本破甲榴彈ハ十四年式十榴加農彈藥九五式破甲榴彈ト全然同一ナリ

第三 審査經過ノ概要

本破甲榴彈ハ未タ三八式十榴加農ヲ以テハ實射試驗ヲ行ハサルモ十四年式十榴加農及九一式十榴榴彈砲ニヨル實射ノ成績ヨリ判定シ本火砲ニモ十分實用ニ適スルモノト認メタルヲ以テ茲ニ三八式十榴加農彈藥九五式破甲榴彈トシテ假制式制定ノ上甲ヲ爲スニ至レリ

現品

陸技本甲第四九四號

九一式十糎榴彈砲彈藥九五式破甲榴彈假制式制定ノ件
上申

昭和十一年九月十四日

陸軍技術本部長 久村

陸軍大臣伯爵 寺内 壽一 殿

首題彈藥ハ審査ノ結果實用ニ適スルモノト認ムルヲ以テ假制式トシテ制定セラレ
度左記圖書相添へ上申ス

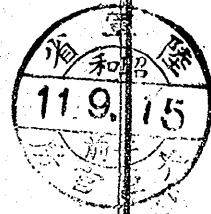
左記

一、九一式十糎榴彈砲彈藥九五式破甲榴彈圖

一、同 概説

一、同 細目名稱表中追加

一 部
二 部
二 部



陸



九一式十機榴彈砲藥九五式破甲榴彈概説

昭和十一年七月
陸軍技術本部

陸

軍

九一式十纏榴弾砲彈藥九五式破甲榴弾概説

第一 審査ノ目的及用途

本彈八十四年式十纏加農彈藥九五式破甲榴弾ノ審査完了ニ伴ヒ之レヲ九一式十纏榴弾砲ニ兼用シ十纏級彈丸ヲ統制セルモノナリ

第二 構造及機能

本破甲榴弾八十四年式十纏加農彈藥九五式破甲榴弾ト全然同一ナリ

第三 審査經過ノ概要

本破甲榴弾八十四年式十纏加農彈藥九五式破甲榴弾ノ審査ニ當リ常ニ二十四年式十纏加農ト共ニ九一式十纏榴弾砲ヲ以テ試験ヲ實施セシモノニシテ本火砲ニモ十分實用ニ適スルモノト認メタルヲ以テ茲ニ九一式十纏榴弾砲彈藥九五式破甲榴弾トシテ假制式制定ノ上申ヲ爲スニ至レリ



陸軍省 第九三四

陸技本甲第四九三號

九四式山砲彈藥九五式破甲榴彈彈藥筒假制式制定ノ件
上申

昭和十一年九月十四日

陸軍技術本部長 久村

陸軍大臣伯爵 寺内 壽 一 殿

首題彈藥ハ審査ノ結果實用ニ適スルモノト認ムルヲ以テ假制式トシテ制定セラレ
度左記圖書相添へ上申ス

左記

- 一 九四式山砲彈藥九五式破甲榴彈彈藥筒圖 概説 一 部
- 一 同 二 部
- 一 同 細目名稱表中追加 二 部

陸軍省 陸軍省 陸軍省

11.9.15

第九三四

陸軍省 陸軍省 陸軍省



九四式山砲彈藥九五式敵中榴彈彈藥筒概説

昭和十一年七月
陸軍技術本部

陸

軍

九四式山砲彈藥九五式破甲榴彈彈藥筒概説

第一 番會ノ目的及用途

本彈ハ四三八式野砲
改造三八式野砲
彈藥九五式破甲榴彈ノ番會完了ニ伴ヒ之レ

ヲ九四式山砲ニ兼用シ野砲級彈丸ヲ統制セルモノナリ

第二 構造及機能

本破甲榴彈ハ三八式野砲、四一式騎砲、改造三八式野砲彈藥九五式破甲榴彈ト全然同一ナリ

藥筒ハ完全彈藥筒式ニシテ現制九〇式尖銳彈藥筒ノモノト同一ナリ

第三 番會經過ノ概要

本破甲榴彈ハ九四式山砲ヲ以テ未タ實射試驗ヲ行ハサルモ改造三八式野砲及四一式山砲ノ實射結果ヨリ判定シ本火砲ニモ十分實用シ得ルモノト認め茲ニ九四式山砲彈藥九五式破甲榴彈彈藥筒トシテ假制

式制定ノ上申ヲ爲スニ至レリ



現品添付

九三九

陸技本甲第四九八號

四一式山砲彈藥九五式破甲榴彈彈藥筒假制式制定ノ件
上申

昭和十一年九月十四日

陸軍技術本部長 久村 種 樹

陸軍大臣伯爵 寺 内 壽 一 殿

首題彈藥ハ審査ノ結果實用ニ適スルモノト認ムルヲ以テ假制式トシテ制定セラレ
度左記圖書相添へ上申ス

左 記

一、四一式山砲彈藥九五式破甲榴彈彈藥筒圖

一、同

一、同

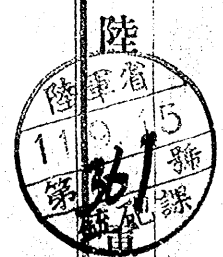
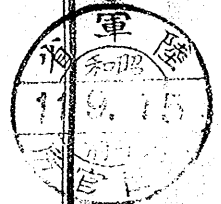
概説

細目名稱表中追加

一 部

二 部

二 部



四一式山砲彈藥九五式倣中榴彈彈藥筒概説

昭和十一年九月
陸軍技術本部

陸軍

四一式山砲彈藥九五式破甲榴彈彈藥簡概説

第一 審査ノ目的及用途

三八式野砲

本砲ハ四一式騎砲

改造三八式野砲

彈藥九五式破甲榴彈ノ審査完了ニ伴ヒ之レ

ヲ四一式山砲ニ兼用シ野砲級彈丸ヲ統制セルモノナリ

第二 構造及機能

本破甲榴彈ハ三八式野砲、四一式騎砲、改造三八式野砲彈藥九五式

破甲榴彈ト全然同一ナリ

藥筒ハ完全彈藥筒式ニシテ現制九四式榴彈彈藥筒ノモノト同一ナリ

第三 審査經過ノ概要

本破甲榴彈ハ主トシテ改造三八式野砲ヲ以テ審査セルモノニシテ其ノ成績及昭和十年度北滿酷寒期試験ニ於テ四一式山砲ヲ以テセル實射結果ヨリ判定シ本火砲ニモ十分實用シ得ルモノト認メタルヲ以テ茲ニ九四一式山砲彈藥九五式破甲榴彈彈藥筒トシテ假制式制定ノ

1524

上
申
ヲ
爲
ス
ニ
至
レ
リ



九三一

陸技本甲第五〇〇號

九〇式野砲彈藥九五式破甲榴彈彈藥筒假制式制定
ノ件上申

昭和十一年九月十四日

陸軍技術本部長 久村 種樹

陸軍大臣伯爵 寺 内 壽 一 殿

首題彈藥ハ審査ノ結果實用ニ適スルモノト認ムルヲ以テ假制式トシテ制定セラレ
度左記圖書相添へ上申ス

左 記

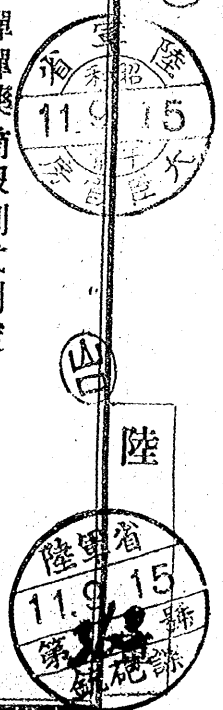
一 九〇式野砲彈藥九五式破甲榴彈彈藥筒圖

概説

二 同

細目名稱表中追加

一 部
二 部
二 部



九〇式野砲彈藥九五式徹甲榴彈彈藥簡概説

昭和十一年九月
陸軍技術本部



陸軍

九〇式野砲彈藥九五式破甲榴彈彈藥筒概説

第一 審査ノ目的及用途

三八式野砲

本砲ハ

四一式騎砲

彈藥九五式破甲榴彈ノ審査完了ニ伴ヒ之レ

ヲ九〇式野砲ニ兼用シ野砲級彈丸ヲ統制セルモノナリ

第二 構造及機能

本破甲榴彈ハ三八式野砲、四一式騎砲、改造三八式野砲彈藥九五式

破甲榴彈ト全然同一ナリ

發筒ハ完全彈藥筒式ニシテ規制九四式榴彈彈藥筒ノモノト同一ナリ

第三 審査經過ノ概要

本破甲榴彈ハ九〇式野砲ヲ以テ未タ實射試驗ヲ行ハサルモ改造三八式野砲及四一式山砲ノ實射結果ヨリ判定シ本火砲ニモ十分實用シ得ルモノト認め茲ニ九〇式野砲彈藥九五式破甲榴彈彈藥筒トシテ假制式制定ノ上甲ヲ爲スニ至レリ



現品添付

九三〇

陸技審甲第四九六號

三八式野砲
四一式騎砲
改造三八式野砲

彈藥九五式破甲榴彈彈藥筒假制式
制定ノ件上申

昭和十一年九月十四日

陸軍技術本部長 久村

陸軍大臣伯爵 寺内 壽 一 殿

首題彈藥ハ審査ノ結果實用ニ適スルモノト認ムルヲ以テ假制式トシテ制定セラレ
度左記圖書相添へ上申ス

左記

一 三八式野砲
一 四一式騎砲
改造三八式野砲

砲彈藥九五式破甲榴彈彈藥筒圖

一部

一 同

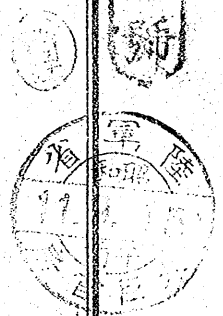
概説

二部

一 同

細目名稱表中追加

二部



軍

三 八 式 野 砲 他
四 一 式 騎 砲 他
改 造 三 八 式 野 砲 他

彈 藥 九 五 式 破 甲 榴 彈 藥 筒 概 説

昭 和 十 一 年 九 月
陸 軍 技 術 本 部

陸 軍

三八式野砲
四一式騎砲
改造三八式野砲

彈藥九五式破甲榴彈藥筒概説

第一 番倉ノ目的

本砲ハ「ペトン」梅藥物及凍結セル野戰築城ノ破壞並戰車、裝甲自動車等ノ裝甲目標ニ對シ裝甲板ヲ侵徹シ内部ニ破壞殺傷效力ヲ企圖スルヲ主目的トセルモノニシテ三八式野砲、四一式騎砲、改造三八式野砲用トシテ番倉セルモノナリ

第二 構造及機能

本破甲榴彈ハ彈丸、炸藥及信管ヨリ成リ全備彈重約六壯二二〇 全長約四・二口徑ノ蛋形彈ナリ

彈丸ハ彈體、底螺及銅環等ヨリ成リ彈體ハ蛋形部半徑約二口徑彈頭肉厚五五粒ノ鋼製摺出彈體ニシテ彈頭ヲ二重燒入シ下部内面ニ底螺ヲ螺著スヘキねち部ヲ設ク尙下部外周ニ幅十粒ノ鋼製彈帶一條ヲ裝ス底螺ハ彈體下部ニ螺著スヘキねち部ヲ有シ中央ニ信管孔ヲ設ケ之レニ信管ヲ螺著スル如クス尙底螺鋤部ハ外周經始ヲ圓錐形トナシ裝

甲板侵徹ノ際彈體ノ不規運動ニ對シ底螺ノ剝脫セラルルヲ防ク
 鋼板ハ厚サ一耗ノ剝毀壞狀板ニシテ底螺ニ設ケタル深サ〇・五耗ノ環
 狀溝ニ嵌裝シ底螺ヲ緊定セシ際密着ヲ確實ニシ火藥瓦斯ノ侵入ヲ防
 止ス

信管八九五式鐵甲小彈底信管ヲ使用シ之レヲ底螺ニ螺著ス
 炸藥ハ約〇・七四九〇ニシテ黃那藥ノ被包熔融式ヨリナリ頭部ニハほ
 ほのき^製炸藥頭ヲ附シ彈着ノ衝撃ニヨリ炸藥自爆スルコトナク而モ信
 管作用ニヨリ完全ニ爆發スル如クス

構造以上ノ如クナルヲ以テ本彈丸ハ堅硬ナル彈頭ヲ以テ「ペトン」_」体
 或ハ裝甲板等ニ侵徹シタル後延期秒時ヲ有スル信管ノ作用ニヨリ炸
 毀シ被毀殺傷ノ效力ヲ早シ得ルモノトス

藥筒ハ完全彈藥筒式ニシテ九〇式尖銳彈藥筒ノモノニ同シ

第三 威力

改造三八式野砲ヲ以テ初速約五二五米ニシテ厚サ二〇耗ノ裝甲板ニ
 對シテハ約三千米ノ距離ヨリ之レヲ貫通シ得ヘク厚サ三〇耗ノ裝甲

板ニ對シテハ彈体抗力稍々薄弱ニシテ之レヲ貫通シ得サルモ尙半
ハ貫通シテ炸裂シ内部ニ相當ノ效力ヲ呈シ得ヘシ
「ベトン」構築物ニ對シテハ數彈略々同一場所ニ命中スルコトニ
ヨリ相當ノ效力ヲ又輕掩蓋柱廣ノ凍結セル掩蓋ニ對シテハ之レヲ
貫通シ破毀致殺傷效力ヲ期待シ得ヘシ

第四 審査經過ノ概要

昭和九年十月伊良湖射場ニ於テ改造三八式野砲ヲ以テ第一回試製
彈丸ニ依リ王トシテ「ベトン」体ニ對スル彈体抗力ノ試驗ヲ實施
シ良好ノ成績ヲ得タルモ炸藥ノ安全性ヲ增加スルタメ傳火藥室ヲ
設ケ且完全爆發ヲ容易ナラシムルタメ九五式破甲小彈底信管ヲ使
用スルコトトシ若干彈体ニ修正ヲ施シ昭和十年四月伊良湖射場ニ
於テ改造三八式野砲ヲ以テ第二回試驗ヲ實施セリ其ノ結果「ベト
ン」体ニ對スル彈体抗力及炸藥安全度ハ十分ナリシモ完全爆發ヲ
セサルモノアリ

依テ炸藥ノ機能及安全性ヲ一層良好ナラシムルタメ傳火藥室ヲ嚴

シ茶黄炸藥ニ代フルニ黄那炸藥ヲ以テシ更ニ信管ノ起爆力ヲ増ス
 如ク修正シ同年十月伊良湖射場ニ於テ^便第三回試験ヲ實施セリ
 其ノ結果炸藥安全度及機能十分ニシテ強道性モ良好且「ベトン」
 及鋼板ニ對スル效力モ概ネ所期ノモノヲ得タリ
 次テ昭和十年度北滿酷寒期試験ニ供試シ四一式山砲及改造三八式
 野砲ヲ以テ凍結セル掩蔽ニ對スル效力試験ヲ實施シ是亦概ネ所期
 ノ效力ヲ得十分實用ニ適スルモノト認メタリ
 依テ茲ニ三八式野砲、四一式野砲、改造三八式野砲彈藥九五式破
 甲榴彈トシテ假制式制定ノ上甲ヲ爲スニ至レリ

銃砲

陸技本甲第六五三號

參

九〇式野砲

和昭 11.12.11 前 陸軍省

山口

陸軍省 11.12.1 第 253 課 砲課

360 361 363

- 三八式野砲
- 四一式騎砲彈藥以下九點九五式破甲榴彈彈藥筒
- 改造三八式野砲

圖面竝概説送付ノ件通牒

昭和十一年十二月十日

陸軍技術本部副官 伊東保生

陸軍省副官 寺倉正三 殿

本年九月二十四日附陸普第五九七四號通牒ニ係ル首題ノ圖面竝概説左記ノ通送付ス
追テ現品ハ陸普番號押捺ノ上銃砲課へ直送可致ニ付承知セラレ度

左記

- 三八式野砲 (圖面 壹枚) 百貳拾貳通
- 改造三八式野砲 (概説 壹枚)
- 九〇式野砲彈藥九五式破甲榴彈彈藥筒 (〃) 百拾四通
- 四一式山砲彈藥九五式破甲榴彈彈藥筒 (〃) 百六通
- 九四式山砲彈藥九五式破甲榴彈彈藥筒 (〃) 八拾五通

九一式十糎榴彈砲彈藥九五式破甲榴彈彈藥筒()
 三八式十糎加農彈藥九五式破甲榴彈彈藥筒()
 七年式十糎加農彈藥九五式破甲榴彈彈藥筒()
 十四年式十糎加農彈藥九五式破甲榴彈彈藥筒()
 九二式十糎加農彈藥九五式破甲榴彈彈藥筒()

百 貳拾通
 九 拾四通
 八 拾參通
 六 拾九通
 六 拾九通